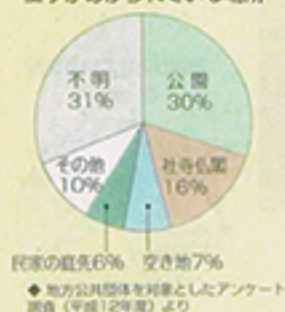


ハトとのトラブルがおきています
エサをあげないで！



ハトはエサがたくさんあると増えます。
 エサの大部分は公園などで人があげています。

エサがあげられている場所



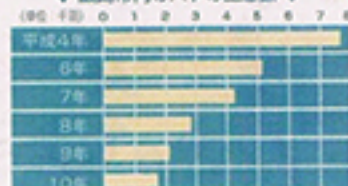
エサをあげているところでは、
 ハトの数がとても多くなります。

エサの量が減るとハトは増えません

広島市では、平和公園を中心にハトのフン害などが問題になり、平成6年より売店でのエサの販売を中止しました。

同時に、エサを与えないよう呼びかけ、ハトの生息数を5分の1まで減少させることに成功しました。

◆ 広島市内のハトの生息数 ◆



ハトとはどんな鳥

ここでいうハトとは、飼い主のいない野生化したハトのことで、ドバトと呼ばれています。

公園や神社、駅前広場などで見られるドバトは、ヨーロッパ、中央アフリカ、アジアに住む野生のハトの一種、カワラバトが飼いならされたものです。

日本には古く奈良時代に持ち込まれ、通信のための伝書鳩として、また競技用のレース鳩などとして多くの人に飼われてきました。これらが野生化し、現在、全国各地で見られるドバトになっています。

- ドバトの食べ物
木の実、草の実、芽、葉など、おもに植物性のものを食べます。
- ドバトの行動
群れで行動し、雨の降り込まない棚状の所にねぐらや巣をつくります。
繁殖期間は1年中ですが、とくに春から夏にかけては繁殖が盛んで、何度も産卵をくり返します。

発行：環境省自然環境局野生生物課鳥獣保護業務室 〒100-8975 東京都千代田区霞が関1丁目2-2
 編集：財団法人日本鳥類保護連盟 〒165-0012 東京都杉並区和田3-51-5 第10田中ビル3F
 制作デザイン：株式会社クリエイティブのうえ 〒107-0062 東京都港区南青山6-12-14-202

写真提供：広島市 発行日 2001年3月



このパンフレットはエコマーク認定の
 65%再生紙を使用しています。

ハトのためにもエサをあげないで

エサをあげると

- 数が増える
- 人をおそれなくなる
- ハトが自力で生きられなくなる
- 被害を与えてきられる

発生している「被害の苦情・相談内容」

フン・羽毛でよごされる
フンなどの悪臭
不衛生、アレルギーで困っている
鳴き声がうるさい

苦情・相談の発生場所

団地、マンション
駅前広場、ガード下商店街
一戸建て住宅
公園
商店街
社寺仏閣
その他

●地方公共団体を対象としたアンケート調査
(平成17年度)より

エサをあげないとハトはどうなるの？

人がエサを与えないと、ハトは雑草、
樹木の種子、芽などを食べます。
これがハトの自然な食べ物です。



ハトはなぜ増える

ハトは1年に何度も卵を産み、
どんどん増えていきます。



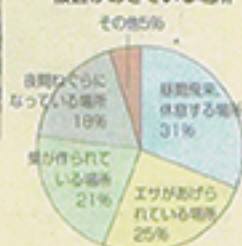
ハトによる被害

公園や通路がフンや羽毛でよごれ、
遊んだり、くつろぐことができなくなります。



群れて飛んでいると、
人に不快感を与えます。

被害がおきている場所



●地方公共団体を対象としたアンケート調査
(平成17年度)より

気をつけて！

人にうつる病気を持っていることもあります。

ハトにさわったり、乾燥したフンを吸い込むとオウム病やクリプトコッカス症がうつるおそれがあります。



ダニ
フンの中のダニで、皮膚炎がおこることもあります。

羽毛がぜん息などのアレルギーの原因となることがあります。

ハトはベランダや建物の隙間に巣を作ります。
巣のまわりはよごれ、ダニやハエが発生します。

ベランダにつくられたハトの巣



ハトのフンでよごれたベランダでは洗濯物もはけません

ハトはビルやマンションのベランダ、駅のガードや高速道路の下に巣をつくります。巣のまわりは悪臭がたぐい、鳴き声も近所のめいわくです。